

IVS2026

**Headline Japan・京都府・京都市
開催に向けての共同記者会見**

IVS KYOTO実行委員会 委員長

株式会社 Headline Japan 代表取締役

島川 敏明

京都府知事

西脇 隆俊

京都市長

松井 孝治

01. IVSについて

What is IVS?

ミッション

次世代の、起爆剤に

History

2007年の初開催から、今年で 33回目の開催を迎えます。

— 京都での開催は 11回目、2023年から **4年連続** の京都開催 —

過去開催回数	32回 (2007年～2025年)
前回 (2025年) 来場者数	13,000名以上 (過去最高)
前回 (2025年) パネルセッション数	200セッション規模
前回 (2025年) 公式サイドイベント数	500件以上

02. 昨年度(2025年)のIVS





IVS2025 HIGHLIGHT

13,000名以上

IVS参加者数(過去最高)

12

ステージ数

186

全セッション数

20%

海外比率

70力国・地域以上

参加国籍

3,900件以上

ミーティングリクエスト
(マッチングシステム「4S」経由)

500件程度

サイドイベント

03. 今年のIVSについて

IVS2026 開催概要

正式名称	IVS2026
テーマ	Japan is Back
日程	2026年7月1日(水)～ 3日(金) ※IVS COREは7月1日(水)～ 2日(木)の2日間
会場	IVS:京都市勧業館「みやこめっせ」「ロームシアター京都」 IVS CORE:ホテルオークラ京都
主催	IVS KYOTO実行委員会(株式会社 Headline Japan / 京都府 / 京都市)
想定来場規模	10,000名以上(IVSエリア) / 1,000名規模(IVS COREエリア)

IVS2026の目標

IVS参加者数(目標)	10,000名以上
ステージ数(予定)	10
全セッション数(予定)	約120
海外比率(目標)	25%以上
参加国籍(目標)	70カ国・地域以上
ミーティング機会	4,000件規模を想定
サイドイベント	500件程度(うちオフィシャルイベント 200件目標)

Theme for 2026

テーマ

Japan is Back

2026年は「Japan is Back」をテーマに掲げ、
「なぜ日本にスタートアップが必要なのか？」 —
この問いに、IVS2026は日本のスタートアップの真価を世界に証明することで答えます。

04. リファラルチケット制度について

What is REFERRAL TICKET?

本年より、国内カンファレンスとして日本初(※)となる
「リファラルチケット」システムを導入しました。
紹介を受ける → 参加する → 自分も誰かを紹介する
というのが「リファラルチケット」システムです。

※ 1万人規模の国内カンファレンスにおけるリファラル型チケットシステムの導入として(IVS調べ、2026年4月時点)

What is REFERRAL TICKET?

招待のつながりが見える「IVS家系図」



リファラルチケットでは、招待のつながりを可視化する「IVS家系図(リファラルグラフ)」を利用できます。自分を招いてくれた人から、自分が招いた人まで、つながりの全体像を一目で見渡せます。

会場で誰に会いに行くか、誰と誰を引き合わせるか。IVS家系図は、そうした出会いを探す地図になります。

あわせて、リファラルの連鎖を大きく広げた始祖の人を称える「始祖ランキング」も、今後の公開を予定しています。

※IVS家系図は、IVS参加者のみが閲覧できる機能です。4Sの画面より、自分のIVS家系図をご覧ください。

05. IVS COREについて

What is IVS CORE?



クローズドだからこそ、出てくる議論がある

IVS COREは、約1,000人の意思決定者だけが集う2日間。

IVSは数年をかけて、13,000人を超える規模へと拡大してきました。スタートアップ業界の裾野を広げてきたが、意思決定者からは「より濃密な議論ができる場」を求める声が寄せられています。

IVS COREは、そうした声に応じて、本年より新設された招待制の意思決定者向け(決裁者向け)エリアです。

基本的に全セッションで、録画・録音・SNS投稿を一切禁止とし、1セッションは90分、IVS本体のセッションより長尺の構成(IVS本体は60分が一般的)「短く要点だけ話す」のではなく、「腰を据えて議論する」ための設計になっています。

産業の未来を、自分の意思決定で動かせる人のための場所です。

IVS CORE 想定参加規模・特徴

想定参加者数

1,000名

会場

ホテルオークラ京都

会期

2026年7月1日(水)～ 2日(木)

参加要件

招待制・審査制(CORE PASS / CORE PASS Startup)

メディア取材

原則オフレコ / 別途レギュレーション参照

06. サイドイベントについて

What is SIDE EVENTS?

2026年7月1日(水)～3日(金)に京都市勧業館「みやこめっせ」「ロームシアター京都」で開催される「IVS2026」をメインイベントとし、

会期中、その前後で開催される IVS参加者が主催するイベント群を
”サイドイベント”と呼んでいます。

What is SIDE EVENTS?

本年は、IVSが運用基準に沿って認定したオフィシャルサイドイベントに「IVS公式オフィシャルバッジ」を付与し、チケットプラットフォーム「4S(フォース)」に一覧を掲載する取り組みを開始します。



**07. IVS2026 LAUNCHPAD
ファイナリスト企業の発表**

What is IVS LAUNCHPAD?

7月3日(金)に行われるメインコンテンツ / 次世代の起業家の登竜門

IVS2026 LAUNCHPAD



IVS2026 LAUNCHPAD

IVS LAUNCHPAD 登壇者の実績 ※IVS調べ



IPO

M&A

10億円以上の資金調達



登壇社 合計資金調達額: 約3,000億

登壇社数合計: 513社

IVS2026 LAUNCHPAD ファイナリスト企業

株式会社あかり保証

株式会社 inprog

株式会社 UMIAILE

株式会社 Elith

Satelyx

株式会社 zooba

株式会社 Space Quarters

株式会社 ZetaX

株式会社 TAIAN

株式会社 tamateco

Tofuchan

HiStranger

株式会社 MUSE

Ryp Labs

株式会社 ロボトラック



× 京都府



スタートアップ。 京都国際賞

1,000万円

無限冒險頂点

京都府

西脇 隆俊 知事

**4年目を迎える
京都開催へのコメント**

京都市

松井 孝治 市長

**4年目を迎える
京都開催へのコメント**

09. 京都市各地で開催される サイドイベントのご紹介

京都市主催サイドイベント

NATURE POSITIVE NIGHT

～五感で味わう、京都の自然資本とゼブラ的経営～



小松 良朗
株式会社日建設計
執行役員



曾 緋蘭
株式会社ROOTS
共同代表/ソーシャルデザイン



堤 卓也
株式会社堤浅吉漆店
代表取締役



阿座上 陽平
株式会社Zebras and Company
共同代表/共同創業者



7月1日(水) 18:00~20:50 ウエダ本社 TRAFFIC

京都市主催サイドイベント

OFFICIAL SIDE EVENT

IVS2026 KYOTO 公式サイドイベント

伝統と革新の交差点

京都からはじまる 事業承継イノベーション Meet up 2026

事業承継のリアルな課題と、未来をつくるヒントがここに。

2026.7.3 金 17:00-20:00
(開場16:30)

京都市役所本庁舎
第1~3会議室・市役所前ひろば

トークセッション / アトツギ縁日 / 専門家相談ブース / 交流会

多数の地域企業が出展!

主催 京都市

企画運営 (一社)京都府中小企業診断協会 (一社)応縁堂 橋本経営相談事務所 株式会社よい根

10. 質疑応答

11. フォトセッション